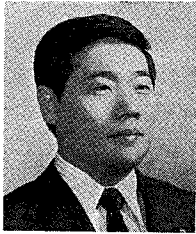


# 瑞雲

直方鉄工青年会

第30号



## 我が町直方

直方J C理事長

小川 精一

鉄工青年会の皆様には、公に於いては(社)直方青年会議所で、私においては私の職業で、常日頃より大変お世話になっています事、心から御礼申し上げます。

この度、貴会報誌「瑞雲」へ寄稿依頼があり、拙文ながら私達の直方について、私なりに考えた事を述べさせていただきます。

直方は朝鮮の倭の国を源流にして、弥生期半島より遠賀川流域に文化が伝来したものです。それが遠賀川式土器であり、若宮の竹原古墳にその事実をみることができ、日本で一番早く水稲が稲作されたのも遠賀川流域です。

その後は日本書記の筑紫の国、6世紀へと進んだ訳ですが、若宮の剣塚古墳をみても前方後円墳で、大和朝廷の勢力圏に治められていたことが伺えます。この頃の筑紫の国は筑前、筑後からなり、種々の豪族が治めていましたが、その中で、今の直方・鞍手郡地方の国くにのみやつこ造を鞍橋君くらしきみといい鞍手町の長谷山頂に鞍橋神社が有り、直方の劍神社は現在でも鞍橋大明神ののほりを立てています。

ここに直鞍が一体であることをこじつけて私たちは広域行政、又直鞍の合併を唱えようとしているのです。すでに直方市また各町1町で大きなプロジェクトが組める時代ではないと思っています。

直方は昔から親分の居ない街とされています。独裁を望む訳ではないので、それは良い事でしょうが、その反面、これという大きな事業がなされていません。江戸期直方に東蓮寺藩が置かれた時、古町が出来、直方藩の時に新町が造られました。殿様にはこれだけ大きなプロジェクトが遂行できる力があったのです。

また、遠く稲作の伝来から現在までに、直方にとって最大の事業に、城下町の作成がありますが、明治以後、石炭が直方の基幹産業として、鉄工業と川筋気質を残したことが注目されるのみとは、住民の一人として少し淋しい気が致します。

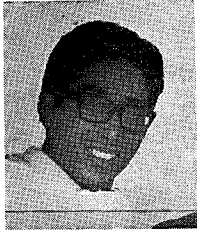
直方、鞍手郡を一体として、私達の郷土に活力を取りもどす方法は無いものか。最近はいつもその事を考えさせられます。

同世代の青年会のみならず直方J C、そしてその他の青年達の力を結集して歴史に残せる、子供や孫に誇りを持って渡せる街をつくりたいと思うのですが、いかがでしょうか。組織の目的が違うことは百も承知していますが、貴会の会歌にあります福智の峰をもっと輝いたものにするために、同調出来る部分を求めて行動させて頂くことをお願いします。

貴会員の各社が益々発展され、直方に於ける基幹産業の役割を果たされますようお祈り致します。

今年度会長スローガン

- (1) 例会、委員会の充実化をはかろう
- (2) 会員拡大に努めよう
- (3) 他の青年団体との交流を密にしよう



## 福智の里から

直方養護学校

山本 末男

第1次石油ショックから始まる不況、インフレの厳しい産業界の試練に耐え、産業界の基盤に不可欠な鉄製品の生産加工、そして経営にご努力されている鉄工青年会の皆様、御苦勞様です。

県立直方養護学校の様子の一部を紹介し、心身障害児(者)の身体的、社会的自立をめざした教育の場が置かれている状況や、問題を少しでも御理解、御援助をいただければと思って筆を取ります。

現在、政令都市福岡、北九州両市を除く福岡県下に16の障害児学校が設置されています。障害児、者は盲、聾、病虚弱、肢体不自由、精神薄弱、情緒障害、言語障害と7つの障害に分類出来ます。これらの障害が2つ以上重なることが多く見られます。これらを重複障害と云っています。本校は、精薄(知恵遅れの子供)を対象にした学校で、県立学校では、歴史が1番古く、6年前に設置されました。御存知の様に、昨年の4月1日から、精薄児については、「親には就学させる義務、都道府県には学校を設置する義務がある」と、いわゆる養護学校義務化が遅ればせながら実施されました。県もそれに呼応して、昨年県下に5校の養護学校を設置したところです。

明治11年、京都に盲啞院が置かれてから昨年在、101年目です。精薄児にやっと101年目にして、教育が義務化されたわけです。このことは、従来まで軽度の精薄児は、通常の学校の学級や、特殊学級に在学し、重度の精薄児は、施設か、自宅療養であったのが、昨年からは、障害の程度に拘わらず、全ての障害児が、教育的措置を受けることになったわけです。障害児、者及び親にとっては画期的な出来ごとといえます

3万人弱の就学免除者が、4千人弱に減ったことが如実に示しています。寝たきりの重度心身障害児にも訪問教育という不十分ではありますが、教育の光が初めてあてられたのです。

本校の概要は次の通りです。下境、立石電機工場の隣りにあり、小学部68名、中学部37、高等部59名、重複障害児学級12名、そして、在宅障害児(訪問学級)5名、計181名が在学しています。子供達の出身地は、県立学校では1校だけだった関係で、北

九州、大牟田、京都、行橋と全県にまたがっています。従って通学不可能な子供が多く、107名の子供達が、学校横の寄宿舎から学校へ通っています。2週間に1回、自宅へ帰ります。寄宿舎生にとって一番嬉しいのがこの帰省日です。自宅通学生には昨年からは、西鉄と国鉄に委託した、スクールバスが通うことになりました。学校所管でないため、スクールバスの発着時刻に制約されて困ることが多くあります。職員は校長以下、事務、調理、寮母等合わせて91人です。

さて、学習の内容はどうかといえますと、通常学校と違うところは、養護、訓練といって、子供の身体、言語等の機能障害を治療という訓練ともいえるいわゆる養訓があることと、授業内容が、子供の年齢より低く、子供の知能や学力に合せられているくらいで、基本的に教育過程は大差ないといえます。私が属している高等部では、数学、国語等の普通教科(小学校低学年から高学年程度)があり、特色のあるのは、木工・窯業・園芸そして、調理・被服・手芸を含む家庭科で、かなりの時間をさいています。勿論、運動会、遠足、社会見学・修学旅行等の学校行事や、不十分ながら、児童、生徒会活動もあります。

本校の教育の基本としては、自らの障害を教科学習養護訓練、特別活動等学校の全学習領域にわたって、学習を通じて克服する、乗り越えていく、即ち、子供自らが身体や、知能の発達段階と障害を踏まえ、1歩上位の課題に挑戦する。そして教師がそれを援助するということを目指しています。子供達の自己実現を援助することは、次のようなことです。子供がころんでもすぐ手をさし伸ばすのではなく、自らの力で起き上がり、それが克服出来れば、1歩進めて、確かな足どりで歩くという具合です。小学部では、身体・生活の自立がまず援助目標となります。身辺処理、健康の維持・管理は、小学部低学年でほぼ達成されているのが通例です。気をつけていることは、その子供の能力とかけ離れた目標を設定することです。その時は必ず、挫折感が子供に宿ります。教師には、暖かく、厳しくそして適格にその子供の実態把握と、課題設定と、その道筋を明らかにする作業があります。私は、まだ子供達の真の姿をつかむことが出来ていません。

私が属する高等部では、今年の3月に初めての卒業生を社会に送ります。就職する子供、施設に入る子供行く先は様々です。卒業おめでとうと卒直にいえませんが、何故なら、学校での笑顔が、事業所で、施設で絶えるような気がしてなりません。残念ながら、障害児者に対する社会の目は冷たいし、理解は不十分と云わざるを得ません。この子等に責任があるのでしょうか

いや決してあるとは思いません。然らば親に全責任があるのでしょうか。統計によりますと、百人の出生に3.69人の障害児が生れているとなっています。私もいづれ、高齢者となれば、障害者となるでしょう。貴重な紙面さかしていただき感謝致します。つれづ

れ思うまま、雑感を述べさしていただきました。この子らが、明るく、生き生きと送れる社会をと願っています。

最後に、直方鉄工青年会々員の皆様の御健康と御発展を心から祈ります。



## 愚見

直方市役所商工課

大塚 進弘

本市鉄工会は、炭鉱関連機器の製造から、北九州工業地帯を背景とする鉄鋼及び造船へ受注先の転換を行い、高度成長を続ける日本経済と共に発展してきたが幸か不幸か下請の体質から脱却できずに終わった為、近年の北九州工業地帯の停滞と同じく、本市鉄工界の今日の状況があると思われる。その原因は、いったい何だったのだろうか。九州経済のもつ素材型産業構造の限界の為だろうか。様々な業種が混在し、かつ長い歴史をもつ本市鉄工界にとって、一大機械工業の産地への発展も可能ではなかったのだろうか。

ところで、付加価値生産性の向上が叫ばれて久しく本市鉄工界は今日までどれだけ付加価値を高めることができたろう。完成品を持たない本市鉄工界は、中間加工を主としており、生産性の向上なくして発展は考えられないし、同時により付加価値の高い方向へ、積極的に移行することが望ましいと思われる。

そのための優秀な人材の確保と育成、あるいは、経営管理・生産等の諸技術の向上は必須であり、当然、自己資本充実等、企業体質の強化が大切であることは周知のことではあるが、これらの問題を、個々の企業独自で解決するには、今日までの本市鉄工界の歴史が示すとおり困難と思われる。しかしながら本市鉄工界には、長い伝統と団結力を誇る直方鉄工協同組合があり、又行動力を誇る鉄工青年会もあることから、これらを中心に問題解決に努力するならば、必ずや道は開けるものと思われる。

また今日、宅地開発等による公害問題により、企業の存立の基盤そのものが危機にたたされようとしているが、環境との調和という社会的要請に答えるため、業界と行政が一体となって、この問題解決にあたらなければならない。

元来、共同という事には難しい一面があり、なかなか成功しないけれど、今こそ共通の問題は共同で解決する方向で、努力すべきではないだろうか。地方の時代が叫ばれる今日、地場企業の振興育成こそその基盤であり、鉄工界の発展なくして本市の発展はない。

現在、本市鉄工界は、多くの難問に直面しているがこれらの克服と鉄工界の発展には、業界と行政との連携と、直方鉄工(協)を中心とする鉄工青年の活躍なくして考えられない。鉄工青年会の存在理由がここにあると思われる。

以上、商工課工業係2年生として考えてみました。愚者千慮必有一得であれば幸いです。



## 休憩室



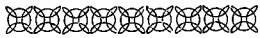
手続簡便、自由行動的中国旅行

猫も杓子も中国へ、中国へ。だが実際には手続きが面倒で、おまけに中国へ行っても、ほとんど自由行動がとれないのが現状だ。

そんな間隙をぬって人気の出ているのが、香港の旅行社が外国人用に売出しているパック旅行。誰でも個人で参加できるのがミソで、ビザも香港で簡単にとれる。ガイドは英語だが、20人程度の小グループで、希望コースの出発日に香港の啓徳空港か九龍駅に集合すればOKという手軽さ。

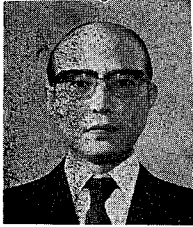
中国だけではなく、香港で欧米のみやげ品も買えるとあって、最近では日本の新婚カップルの参加が増えていくという。

日本のと香港のパックを両方体験した日本人客によると、日本人だけの団体の方がはるかに規制が多く、欧米人のグループの方がかなり自由行動もとれるそうで、中味の違いに驚いている。



# 青年会の思い出雑感

石橋 勲



時の経つのは早いもので私が青年会に入会して早や15年、そして近く皆さんに送られて卒業の日を迎えることを思えば、真に感無量なるものが深いし、この間何ひとつお役に立てな

ったことが心残りである。

私の会員期間15年は確か昭和41年?戸畑の連鎖倒産旋風の頃に始まったように思う。

自来、高度成長時代、ドルショック、円切上げ等々目まぐるしい迂余曲折はあったものの、一応順調な成長を遂げた日本経済の中で、我々が多かれ少なかれその恩恵に浴し得た数年であった。

ところがご承知のオイルショックは、高度成長路線を一挙に覆えしたのみか、物の不足へ拍車をかけたのであるが、この原油値上げを以て千載一遇のチャンス到来とほくそ笑んだのが、当の石油業界だけであったのも皮肉、正に雨降れば傘屋が喜ぶのたぐいである。

こうして、景気の長期凋落傾向は不況から減速経済時代へとテンポを早め、政府をして「全治3年を要する重症」と言わせた日本経済の底辺では、減量経営を主軸に企業の維持建て直しを模索したと言うのが中小企業の実態で、2ケタの成長率を期待するなど全く遠い夢物語に等しかったし、国内企業160万社の内半数が赤字に転落呻吟したと言われる状況の中で、頼りの銀行からは財布の紐を締められ、取引先の大手からは、円高、構造不況などを口実に受注の量、価格の両面でいがられ通しと言う現実の中に、平素協調を口にする大手のホンネと正体をまざまざと見せつけられたのが、私の会長時代であった。この点皆さんの記憶に新しいところである。

特に昨年来始まった産油国思いのままの原油価格攻勢、従って迫られる省エネ問題への対応、与野党伯仲と言う政情不安、緊迫予断を許さぬ国際情勢等どれ一つとして明るい要因の見当らぬ中であっても、我々にはこれに耐え生き抜く企業的社会的使命がある。

言うまでもなく青年会は、今後20年30年……と飛躍発展を遂げ、やがて次の世代に引継がるべきものであるが、青年会は「互助と信頼を基調とする有機的結合」でなければならないと言う私の持論は今なお変りはないし、困ったことがあれば親身に相談し合い、助け合える形であってこそ、青年会の存在意義があると思うのである。

とかく人間は苦しくなると前後の見境がつかなくなり、つい自己中心的な独善に陥り易いと言う通弊を持つものだが、特に当青年会関係には同種企業が多いだけに、連帯と友情を以て結ばなければならないし、少くとも会員に関する限り「我が田に水を引く」「李下に冠を整す」たぐいの行為は厳に戒むべきであることを敢て付け加え卒業の言葉とする。



## 斬 る!!

15周年記念式典部 会長

浅田 毅



今般15周年記念式典の実行にあたり、式典部会をひきうけ、総務委員会に属しその役にあたったところ総務委員長南君、副委員長吉田一君をはじめ、委員会並びに会員の皆様の協力の

もとに無事遂行出来ましたことを、厚くお礼申し上げます。

想えば6ヶ月前にスタッフ等を決め、準備に入った訳ですが、時には、はげしい口論の中で、それぞれの立場を理解し、持ち前の力を発揮され頼もしい会員ばかりであると一人悦んでおりました。

考えてみますと、今年は鉄工青年会にとり、大きく飛躍し、充実した年であったと思います。会長方針でもあった「会員拡大」、すぐれた新入会員の加入により、15周年を足点に全員が一丸となって働く事を覚えたのもこの年であろう。それにさまざまな論議話題を招いた「ユニホーム」、いろんな事がありました。最近の鉄工青年会「まつりくらじ」等々の行事、他団体との交流にと、その他諸行事にも一役を担う立場に

なって来ました。

しかしながら我々の鉄工青年会という本来の姿からしても、今年1番の出来事は、県外の鉄工青年部会との新しい交流親睦の1ページを加えた事であろうと思います(これは少々手前ミソではあるが)。先日の15周年記念式典に招待し、はるばるお出で載いた荒尾鹿兒島の2団体、それに従来からの佐賀、唐津の各青年部会と共に、我々の将来の同一目標に向って、九州各県の青年部会が一堂に揃い、全ての情報交換、親睦会議会合を持ち、一致団結足並を揃えて前進すべきだと思います。

聞くところによると来年度我々青年会にもついて、

受注対策委員会、公害対策委員会等の特別委員会の設定がなされているとのことですが、ここに至ってやっと青年会本来の姿がとらえられたものと喜んでます。例会等で仲間が寄り合って酒を飲むのも親睦(?)になるでしょう。毎日々々親睦をしすぎて無理をして身体を悪くし入院する様な事ではいけません……?全く無知無学に等しいこの2つの委員会、この特別委員会のもとで大いに計り合い、研究し、会員全員で勉強しようではありませんか。

最後になりましたが、親睦のしすぎで入院致しました折、青年会よりお見舞を戴きまして誠にありがとうございます。



## 優良運転者表彰を受けて

倉 成 信



福岡県では毎年勤労感謝の日に、優良運転者表彰がありますが、昨秋私も多数の人と共に10年以上無事故無違反の銀章表彰して頂きました。



思えば、18才に普通免許をとり丸17年間(原付免許からは19年間)大した事故にもあわず、反則金や罰金の支払いを1度もせずすんだのは、特別な幸運に恵まれたものと思っています。これ迄には、あわや大事故か、というような事や、間一髪の差でスピード違反などで捕まらなかった事は数知れません。安全運転の大切な事は充分わかっている積りでも、つついアクセルを踏む足に力が入り、安全運転をなかなか完全には実行できません。そういう状態ですから大事故・検挙にならなかったのは、単に心がけだけでなく、もう運の有無だろうと思っています。

受表彰の内でも職業運転手の人や、セールスなどで毎日走り廻っている人達に本当の榮譽が有ると思います。そして毎日走っている人達に事故回数少ない人が多く、私の様にほんの少ししか現在走っていないで受表彰したのは、非常に冷淡な態度をとる人が多いよ

うでした。又、自家用運転者では事故や違反の多い人が多く、その様な人達に祝の言葉を貰う事が多いようでした。

今後も職場の安全と共に、交通安全により一層の注意をして、20年以上の金章表彰をめざして、幸運の神が逃げ出さないようにぼちぼち走っていきたくと思っています。

皆さん!安全運転は経済的ですよ!

## \*休憩室\*

ゴルフ族に見る中年と若者の差

電車の中のゴルフ族を観察してみると、妙なところに世代の差が出ていることがわかる。

あのはた迷惑なゴルフバッグ。戸口の隅などに肩身が狭そうにバッグを立てて、ご本人も恐縮しているような顔つき。席があいても腰掛けない。このバッグで一人分余計に車中の場所をいただいておりますので…といった風情。これが中年組。察するに、社内でもそんな風に暮しているのじゃないかしら。

一方、網棚にドカーンとバッグをのっけたり、真中あたりの座席にドッカーン腰掛けて、バッグを自分の前におっ立てる連中がいる。人が手を触れると、ホコリでも払うように手で拭いたりする。これが、たいていは若者。車で行ったらいじゃないか!とどなってやりたくなるような大きな態度。ゴルフ場でマナーの悪いのも彼らだ。



直方・宮田商工会議所、鞍手・若宮・小竹商工会とその青年会及び直方青年会議所で構成される「明日の直鞍を考える会」が、直鞍地域の開発に取り組んでいます。直鞍の浮揚の核と考えられる宮田工業団地の利用方法を、運動の第1歩として取りあげ、自動車産業が来るという可能性を探り、この団地の自動車産業工業用地としての適否、さらに直鞍にとってのメリット

デメリットを検討して来ました。

鉄工青年会にも自動車産業に対する考えを出すよう要請があり、経営委員会で考え方をまとめ、内藤会長に提出し、会長が「自動車産業へのアプローチ」と題してまとめられ、明日の直鞍を考える会が発行した、有木団地調査レポートに掲載されたものです。

(経営委員会)

## 自動車産業へのアプローチ

私達直方鉄工青年会は、今年創立十五周年を迎え、十月に記念式典を挙行し、現在まで私達を支え、育てて下さった方々に感謝すると共に、今後の御指導と御鞭撻をお願い致しました。私達の母体である八十年の歴史を持つ直方鉄工協同組合の各企業も、石炭産業の斜陽化の為に大転換を余儀無くされ、対象を製鉄、造船、一般産業機械へと切り変える事により体質改善を実現し今日に至っております。

現在の私達の企業を考えますと、素材供給型、低加工型であり多品種少量生産型が大半であると申せます

自動車産業は①納期の厳守、②品質の保証、③コスト低減の三点を強く要求します。この点は、基本的にはどの産業でも同じですが、自動車関連企業は小品種多量生産型である点が大きな相違点であるとしみます。その為私達が自動車産業に取り組む為には幾つかの課題があります。

一に大半の企業が現有の機械設備では対応出来ない為に、新たな設備投資が必要となってきます。次に現在まで培ってきた高度な技術力を標準化、単純化、機械化する必要があります。又、私達経営者自身の勉強は無論のこと、従業員訓練等の経営改善の努力と技術習得の一層の積極的姿勢が必要と考えます。

このような認識にたつて九州にも日産、本田の進出を見た現在、私達は自動車産業の経営者の方々との懇談会、工場見学、工場のライン部門やスタッフ部門の方々をお招きしてのセミナー等行ってまいりました。

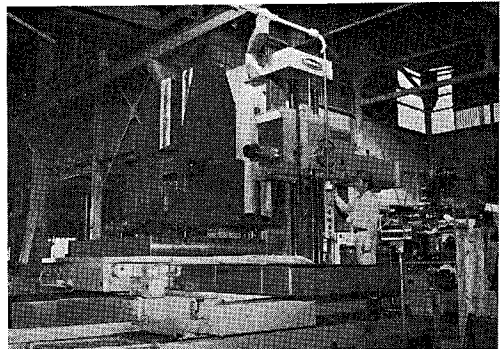
幸い、直方には三つの工業団地があり、企業の集団化、共同化によるメリットを容易に生かす事が出来ます。しかし私達地場の中小企業が色々な課題を克服するには、国や自治体の御指導や助成が不可欠の問題で

ありますので、その充実も是非お願いしたい点であります。

トヨタの宮田工業団地進出が話題になって早や6年を経過し、今だに見通しの立たない現在ですが、近隣地区に自動車産業が進出した場合に受ける経済的、社会的種々の影響を真正面から取り組み、自ら解決の道を開くとともに、安定成長時代と言われ特に構造不況業種の多い北九州の近くに位置する私達にとって、自動車産業へのアプローチは真剣に考えて行かなければならない問題であると考えております。

## 工場訪問

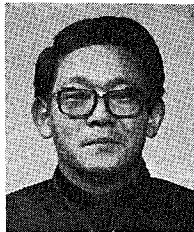
《大谷鉄工所》自慢の機械を紹介致します。九州で2台しかないそうで100/1の精度が出るそうです。



横中ぐり盤

形格及名称 BFT-13CR、ロータリーTB組込式  
主軸、径 130% 主軸くり出長 900%  
主軸頭上下動 1,320% テーブル前後移動 1,800%  
テーブル左右移動 1,100% テーブル作業面 1,400  
×1,600 ヶ上最大積載量 10,000kg  
位置表示装置 マグネスケール方式  
製造番号 143390 製造年月 1979.8  
製作所名 東芝機械KK

## ◆◆◆新入会員紹介◆◆◆



### 井上 進 君

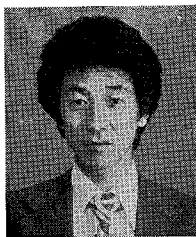
藤 敏 機 製 作 所  
所属委員会 厚生委員会

J Cをやめられ、出事がなく、大変寂しい思いをしていらっしたとかで、

今回入会されたとのこと。

お兄さんによく似ておられ、大変活発でユーモアのある方である。なかなかの商売人とお見受け致しました。

立教大学時代は、へら鮎釣研究会に属され、全国を股にかけて釣りまくられたそうです。



### 村 井 雅 博 君

村 井 工 業 株 式 会 社  
所属委員会 総務委員会

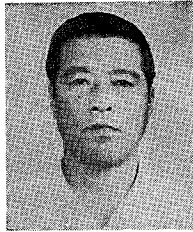
お若いのに、酒は全く駄目、それもそのはず、趣味がレーシング（モータースポーツ）ときております。なんとA級ライセンスをお持ちとかで、この人なら事故は絶対起こさないでしょう。



### 幸 田 良 一 君

株 式 会 社 石 橋 製 作 所  
所属委員会 広報委員会

現在工務を担当されておられて、嫁さんを募集中とのことですが、なかなか忙しくその暇もなく、大変な毎日をすごされています  
現会員の石橋さんとは、甥になられる方で、石橋清一さん（13.14.15.16代 鉄工組合理事長）にそっくりのお方です。ひょっとしたら、有能な指導者の再来かもしれませんね。



### 花 田 人 士 君

北 九 興 業 株 式 会 社  
所属委員会 厚生委員会

大変野性味のあるチャールズブロンソンのような男臭い人間と拝見致しました

夜の遊びも豪快だそうですですがその反面、メンタルなスポーツであるゴルフもされます。

顔を見ただけでまさに鉄の男にびったりといったところですよ。

## 虫が好かぬ関係

30代の働きざかりの会社員Aさんは、虫の好かぬ同僚について、あれこれ思いめぐらしているうちに、その同僚が部長と話し合っている態度が1番気にいらぬことに思い到った。「何だあのへつらった態度は！」と思った途端、Aさんは笑い出してしまった。「あれは実は俺の姿そのものではないか」と思ったからである。と言っても、Aさんが上司にへつらう人というのではない。そんなことするものかと拒否しつつ、やはりへつらう気持ちも、心の底には結構存在しているものだな、と気づいたわけである。

Aさんはこのことに気づいてから、その同僚をみるとそれほど嫌でもないし、以前に感じたほど別に上司にへつらうような人物にも見えなかった。結局は、虫の好かぬ関係は解消されていったが、一緒に飲んだときに、実は最初の頃は嫌な奴だと思っていたのだが、と告白すると、相手もAさんに対して、実は僕もそう思っていたのだと言って大笑いになったのであった。

虫の好かぬ相手は、自分があまり気づいていない影の部分も拡大して映してくれる鏡のようなものであるから、相手をよくよく観察し、少し余裕をもった気持ちで見ていると、Aさんの経験のように、自分のことにはと気づくことがある。

虫が好かないと感じる上司をもったときは、誰しも随分と苦労するが、こんなときも、自分の感情を押しこめて無理に気に入られようとしても無駄である「虫が好かない」というような感情は、ほとんどの場合、相互的であり隠しても隠し切れぬからである。そんなときは、無理に近寄ってゆくよりは、少し離れた

ところで観察し、一体自分の盲点となっているのは何なのだろうと思ってみる方が得策である。

虫が好かぬではなく、はっきりと明白な理由があって嫌いなどときがある。こんなときは理由が明白だけに相手が変わらない限り駄目のように思えるが、この場合でも努力すると面白いこともある。たとえば、あいつは怠け者だから嫌だ、などというとき、相手が絶対に悪いように思えるが、人間の考えというものはそれほど単純ではない。怠け者と見えている人も案外、じっくり考えるタイプなのかも知れぬし、万事控え目の人なのかも知れない。人間世界には常に対立する考え方があり、どちらか一方が絶対に正しいことなどないのではなからうか。こんな考え方をすると、自分から見て絶対に悪い、絶対に嫌いと思っている人間も、自分と異なる考えや、生き方の良さをもっていることに気づかされることがある。

## 長所をみるか短所をみるか

短所をみるか、長所をみるか、考えてみるとこれは人間にとって非常に重要な問題のように思いますね。世の中には、他人の欠点ばかりに目をつける人もいますし、あるいは長所の方に目をつける人もいますが、ぼくは願わくば、他人の長所というものを、なるべくみるように心がけてほしいと思うのです。

お互い神様ではないのですから、誰にでも欠点はあるものですよ。これは人間として、もうやむをえないことではないでしょうか。しかし、そういう短所をもった人でも、必ずどこかにその人のよさとか、長所というものがある。盗人にも三分の理、といわれますが、まさにそうで、まして普通の人間であれば、なおさらのことで、誰にでも良いところがあると思うのです。

友だち同士の間でもそうだと思うのです。あいつは虫がすかん、どうもいやなやつだ、と思いつつも、つきあっているうちに、ふと友だちの良い面を発見することだってあるわけですよ。裏もあれば表もある、それが人間の姿ではないでしょうか。しかし、いつもその裏ばかりみる、欠点ばかりみている。これでは創造的なものは少しも生まれてきませんよ。

とくにこのことは、仕事などで人の上に立つものにとっては非常に重要になってくる。部下の欠点ばかり目を向ける人には、思い切った本当の仕事はできん

すわ。かりに多少の欠点はあったとしても、それには目をつぶり、その長所を認めて思い切って仕事を任せろ。ぼくはそういう考え方のほうが、結局は成功へつなげるように思うのです。

それは、ぼく自身のことをふりかえってみても、そういうことがいえると思うのです。というのも、もともと身体が弱く、学問もあまりなく、しかも特別な知恵才覚なども持ちあわせていなかった、そのぼくが、幸いにして今日までやってこられたその要因は、やはり人の長所に目を向けてきた、ということにあるように思うのです。だから人も採用しやすく、また仕事もしやすかったのではないのでしょうか。

(PHP No.381 2月号より抜萃)



。J C 25 周年お目出とうございます。青年会の為に25周年を前にして、忙しい中を徹夜までして、原稿を書いて頂きました理事長ありがとうございます。

。養護学校の生徒諸君ノ光を失わないで、いつまでも元気に頑張ってください。

これを機会に1人でも多く

の人が福祉への目を向けて頂ければ幸いです。

。公務員天国、殿様公務員とかよばれている世の中、市役所内部の財政企画のある友人に話を聞いてみたら実際は定時以外にも夜11時頃まで会議をしたりするとのこと、そんな忙しい貴重な時間をさいて、青年会の為に叱咤激励して頂きました大塚さんありがとうございます。

。石橋さん、堀さん卒業お目出とうございます。長年青年会の為につくして頂きました。これからは、貴殿がたの教えを受け縦ぎ、よりよい青年会にして行きたいと思います。

発行所 直方市殿町直方鉄工協同組合内  
直方鉄工青年会 TEL③241  
発行日 昭和55年4月1日  
号数 第30号  
編集者 広報委員会(長) 松井 明  
印刷 大同精版印刷(株) TEL⑩0878